

平成30年度 第2回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年09月19日 午後03時30分～午後05時15分

開催場所	中野警察署 署長室	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 2名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

都内及び中野署管内の交通情勢

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
秋の全国交通安全運動の実施について
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 坂道が多い地区では、自転車のスピードが早く危ないことがある。歩道は、歩行者優先であるとの認識を持たせないといけない。小学校低学年の子供たちは、ふざけながら帰ることが多いので、各小学校で安全教育していただけるのは、ありがたい。
  - (2) 年配者の散歩で、信号が変わりはじめているのに渡っていく方々が見受けられる。三世代交通安全教育というのは、孫と一緒に参加しやすいこともあり、とても良い施策だと思う。
  - (3) 時間規制の道路が、抜け道になるためか違反者が多い。取締りをお願いしたい。
  - (4) 若者や外国人は、自転車のルールやマナーを認識していない者が多いので注意が必要である。
  - (5) 車道を歩く人、狭い道でスピードを出す車、車道を逆走する自転車、イヤホン、ながらスマホの自転車等、危険なことが多い。指導をお願いしたい。
  - (6) 自転車が歩道を走るときは、車道側を走るということを啓発していく必要がある。警察官がきちんと走っている姿を見たときは、素晴らしいと思った。手本を見せることはとてもいいことなので続けてほしい。
  - (7) 過去の悲惨な事故を教訓として生かした運動を実施していただいている。引き続き地域と協力して各施策を進めていただきたい。
  - (8) 期間中、交差点等にテントを張り、警察官も民間人も出ていることが、交通事故・違反だけでなく犯罪の抑止にも役立っていると思う。
  - (9) 中野署は自転車の取締り件数が多いと以前伺った。街の自転車マナーは、従前よりは良くなったと感じている。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「街の活動に対する警察の日頃の協力体制に御礼と感謝を、特に祭礼時の交通規制等に関する配慮に感謝する。引き続き、相互の協力体制を継続していきたい。」という意見があった。
- 2 委員から「狭い道で常習的にスピードを出す車両を把握していたが、その車が人身事故を起こした。こういった場合、我々はどうすれば良かったのか。」との質問があり、署長から「危険を感じる事案等を把握した場合は、早めに取締り要請、相談等の形で、情報提供していただきたい。取締りができなくても、事前に指導警告等するなど対処できる。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第1回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年06月18日 午後03時30分～午後05時15分

開催場所 中野警察署署長室  
出席者 協議会委員 6名  
署長ほか 4名

内 容

会議に先立ち、生活安全課長、警備課長、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 民泊について
  - (1) 住宅宿泊事業法（民泊新法）の概要
    - ア 目的
      - (ア) 国内外からの観光旅客の需要への対応
      - (イ) 空き部屋の有効活用による経済効果
    - イ 施行日
 平成30年6月15日
    - ウ 民泊とは
 旅館等営業者以外の者が宿泊料を受けて、1年間に180日を超えない範囲で住宅に人を宿泊させる事業
  - (2) これまでとの違い
 旅館業法～都知事の許可、住宅宿泊事業法～中野区長への届出  
これまでの多くの民泊が旅館業法違反、今後は届出をすれば適法に営業できる。
  - (3) 中野区条例
 区域や期間を条例で制限、中野区では、制限区域においては、原則月曜日正午から金曜日正午までの期間は、民泊を営業してはならない。
  - (4) 民泊施設の状況
 一戸建てもあるが、多いのは共同住宅である。民泊施設には、民泊施設であることを示す標章を貼付することと定められている。
  - (5) 民泊施設への対応
 闇民泊を発見した場合、中野区環境部へ連絡。対応は、中野区が必要な調査をして行政指導を行い解決にあたるのが第一となる。行政指導に従わない、あるいは違反の態様が悪質な場合は、旅館業法での取締りを検討する。
- 2 取締り活動ガイドラインの見直しについて
  - (1) 最重点路線～中野通り、青梅街道、早稲田通り、山手通り
  - (2) 重点路線～鍋横通り、中新通り、本郷通り、大久保通り、方南通り
  - (3) 最重点地域～最重点路線周辺
  - (4) 重点地域～重点路線周辺、中野駅周辺、東中野駅周辺、中野新橋駅周辺、本町5丁目周辺

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 中野警察署災害対策について
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 災害対策について、きめ細かくやっていただいているので頼りにしている。  
警察、消防との連携を強化してほしい。  
災害時の対応、対策について、自助、共助、地域住民が助け合わなくてはいけないことを近所の住民に伝えていきたい。  
町の防災部では、警察と訓練等に取り組んでいて、とても心強く感じている。

[その他の意見要望等]

委員から、「民泊の説明は、とても分かりやすかった。闇民泊等につき情報提供していきたい。」との意見があった。  
委員から、「民泊営業の者は、届出をするといろいろと報告しなければならないので、届出しないのではないか。」との意見があり、署長から、届け出ない施設については、行政指導の対象となり、一次的には中野区で対応することになると回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第4回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月08日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所	中野警察署 1階 署長室	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 3名
------	--------------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、生活安全課長、刑事組織犯罪対策課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について  
平成29年度第3回会議において、「少年の健全育成」への取組として、「犯罪被害者による講演や、警察官の体験を交えた薬物乱用防止教室を行うことも、非行を生まない環境作りの一つの方法ではないか。」という旨の意見があり、  
(1) スクールサポーターの具体的事例を交えた薬物乱用防止教室の開催  
(2) 薬物乱用防止キャンペーンの実施  
(3) 交通事故遺族の講演による「命の大切さを学ぶ教室」開催  
(4) 世代間交流「夢のかけ橋」による地域住民が中心となった非行防止を目的とした活動  
について説明した。
- 2 街頭防犯カメラ映像等による路上強盗事件被疑者の検挙について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
重点目標に対する取組について  
(1) 交通課  
ア 通学路における子供の交通安全対策について  
イ 公共交通機関・町会掲示板への交通事故防止ポスター掲示  
ウ 自転車・二輪車のマナー向上キャンペーンによる交通事故防止対策  
エ プローブ情報を活用した交通安全対策  
(2) 警備課  
ア 各種災害対策の推進  
イ テロ等に備えた危機管理体制の整備  
(3) 地域課  
ア 地域課スローガン「やる気」、「元気」、「地域」について  
イ 積極果敢な地域警察活動の推進  
ウ 地域住民とのふれあい活動の推進  
エ 明日を担う警察官の育成  
(4) 刑事組織犯罪対策課  
ア 体感治安の回復と適正捜査  
イ 組織犯罪への対決姿勢の堅持  
(5) 生活安全課  
ア 人身の安全を確保するための取組の推進  
イ 犯罪の起きにくい社会づくりの推進  
ウ 都民の平穏を脅かす犯罪に指向した検挙防犯対策の推進  
等を説明したうえで、重点目標に対する取組について意見等を求めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会対策の1つとして、民泊施設関連情報等の協力要請をした。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
重点目標に対する取組がよくわかった。民間も協力しなければならないと思った。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時を含め、来年は天皇陛下退位等の皇室行事があるので、寺社仏閣等関係施設に対する警戒をお願いしたい。運転者は競技開催時、規制時間が長時間に及ぶのではという懸念がある。観戦する来日外国人とのトラブルが懸念される。  
署長から、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の問題点は、テロ対策と交通対策であり、オリンピック関係者の定時輸送も求められている。交通総量抑制等を考慮し、関係団体に申し入れする等きめ細やかな対策を講じる旨説明した。  
私の町会では、補助申請したうえで防犯カメラを1台増設した。町会は中心となっ

てやる人がいないと動かない。古い体質が残っているところがあると感じる。  
民泊について、スーツケースを持った外国人を多く見かける。民泊の看板もないので付近にあるかないかもわからない。民泊施設が増えるのが心配である。  
民泊施設の位置・場所等を教えていただければ安心できる。  
近所に民泊施設が一軒あるのを知っているが、他に把握がないので不安がある。  
外国人が増えている実感がある。警察に情報提供して犯罪の未然防止を図りたい。  
通学路安全運転呼びかけ隊は、他のボランティアに参加するきっかけにもなりいいことだと思う。  
近所の道路が新宿方面への抜け道のため、通学時間帯にスクールゾーンとして規制している通学路へ車両が1台入ると続けて入ってくる。取締りをお願いしたい。

[その他の意見要望等]

委員から、「路上強盗犯人検挙の話聞いて、地道な捜査の積み重ねがすごいと思った。」という旨の意見があった。  
委員から、「住民にとって、何かあると頼りになるのは交番である。」旨の意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年12月21日 午後03時00分～午後04時50分

開催場所 中野警察署 1階署長室  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、生活安全課長、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について  
平成29年度第2回会議において「病院跡地を高速路線バスの車庫にする話があり、重大交通事故発生が懸念されるので確認してほしい。」旨の要望があり、
  - (1) 路線バス会社車庫の現状
  - (2) 路線バスのコース
  - (3) 新設された車庫の路線バス出入庫状況
  - (4) 高速路線バスの路線バス会社車庫使用状況と出入庫状況
  - (5) 路線バス会社への申入れと通学路にあたる学校との情報共有について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
少年の健全育成について
  - (1) 都内及び当署の非行少年の検挙・補導状況について
  - (2) 都内及び当署の不良行為少年の状況
  - (3) ひったくり未遂事件等職務質問による検挙事例
  - (4) 青少年の非行防止対策
  - (5) 青少年の薬物乱用防止対策
  - (6) 関係機関主催による中学生意見発表会
  - (7) その他の少年健全育成活動
  - (8) 福祉犯罪対策、検挙事例
 等について説明したうえで、少年の健全育成への取組について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
少年犯罪が減少した結果は、これまで警察が長年にわたり続けてきた取組が、正しかったからだと思うし、少年犯罪が減少していることは実感している。  
長年保護司として携わっているが、昔に比べて、保護観察・施設入所の人員も、地元出身者の割合も少なくなっている。  
父母や地域との関係で町会でも子供を見守っている。  
犯罪者にさせないためには、地域の大きな力が必要だと思う。  
児童・生徒の保護者であれば学校から情報等を得られるが、街の人に対する警察からの情報発信も必要ではないか。  
サイバー犯罪等の目に見えないところで犯罪が発生していると感じている。  
学校等で犯罪被害者の講演や、薬物乱用防止に関する警察官の体験談等を聞くことも、非行を生まない環境作りの方法だと思うので、継続していただきたい。  
挨拶が大切だと思う。近所のシャッター通商店街に若い経営者が何人か入ってきて子供たちに声をかけるようになり、子供たちも大きな声で返している。声かけ運動をすれば健全に育つのではないか。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「仕事で帰りが遅くなったときなど、パトカーや自転車でパトロールしている警察官の姿を見ると、気が引き締まるし安心感を覚える。」との発言があった。
- 2 委員から「姪が中野駅付近で見知らぬ男に声をかけられたことがあった。パトロールしてほしい。」との発言があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第2回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年10月04日 午後03時30分～午後05時20分

開催場所 1階 署長室  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、生活安全課長、交通課長の出席につき委員の了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

「町会等による街頭防犯カメラ設置を図るため、プライバシー侵害といったような抵抗感をなくすよう丁寧に説明していただくとともに、自治体による設置管理が理想的であるので、警察からも自治体に強力で申し入れしてもらいたい。」との答申を受け、

- 1 自治体が独自に設置する街頭防犯カメラの設置状況と助成制度について
  - 2 自治体への働き掛けについて
    - (1) 署長から直接自治体への設置申し入れを行った。
    - (2) 自治体との連絡会会議の場において、毎月強力で申し入れを行った。
    - (3) 申し入れの結果、自治体は、
      - ア 街頭防犯カメラ担当者を増員した。
      - イ 自治体が設置管理する街頭防犯カメラ設置を前向きに検討するとともに、公園カメラの増設を決定した。
      - ウ ランニングコストの全額負担を前向きに検討することとなった。
  - 3 プライバシーの保護について
    - (1) プライバシーを保護するために設置主体者は運用規約等を策定し、厳格なデータ管理に努めている。
    - (2) 規約の策定は、補助金助成の要件となっている。
- 旨を回答した。

[業務報告]

管内等の交通情勢について

[諮問]

重大交通事故防止対策について

[答申]

病院跡地を高速路線バスの車庫にする話があり、重大交通事故発生が懸念されるので、確認をしてほしい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「歩行中一番怖いのは、自転車です。」「ルール、マナーを守らないことから重大事故が発生する。」「ルール、マナーを守らない自転車は、若者や外国人に多い。」「信号無視等自転車の違反をよく見かける。」旨の意見があり、署長から「ルール、マナーの低さが自転車関与率の高さに現れており、継続的にルール、マナーの向上を図り、指導取締りを強化する。」旨説明した。
- 2 委員から「白バイの走行をよく見かけるが、住民も見ており抑止力になると思う。」旨の意見があった。
- 3 委員から「警察官が、深夜帯に交差点の4か所で自転車の検問をしていたが、いいと思った。」旨の意見があった。
- 4 委員から「以前、見づらい標識があった。」旨の意見があり、署長から「そのような場合は直ちに是正するので、すぐに連絡してほしい。」旨説明した。
- 5 委員から「子供だけではなく保護者や地域住民を含め、地域全体での啓発活動をお願いしたい。」との要望があった。
- 6 委員から「交通安全教室の開催は、広く広報してほしい。」旨の要望があり、署長から「新聞の折り込みチラシ、回覧板、署の広報誌等あらゆるツールを活用し、広報に努めている。」旨説明した。
- 7 委員から「スケアードストレイト教室を視察したが、目前で事故を体験できるのはとても貴重なので、もっと大勢の人に見てもらえればと思う。」旨の意見があった。
- 8 委員から「命の大切さを学ぶ教室」を視察したが、交通事故遺族の話を聞き、身につまされる思いがした。生徒だけでなく、広く聞いてもらえれば交通事故防止に役立つと思う。」旨の意見があった。
- 9 委員から「病院跡地を高速路線バスの車庫にするという話がある。大型バスの通行が増え、重大交通事故の発生が懸念されるので、確認をしてほしい。」旨の要望があり、署長から「先行対策を念頭に確認する。」旨回答した。

その他

次回第3回協議会は、12月中旬に開催予定。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第1回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年07月28日 午後03時30分～午後05時30分

開催場所 中野警察署 1階署長室  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、会長、副会長の互選を実施した。また、生活安全課長、交通課長代理の出席について各委員から了承を得た。

【前回の答申等に対する警察署の取組結果】

「全国交通安全運動期間中に限らず、子供・高齢者に対する交通安全教育を継続的に実施していただきたい」との答申を受け、

- 1 本年上半期交通安全教育実施数約70回のうち、子供に対する交通安全教育を28回、高齢者に対する交通安全教育を17回実施した。
- 2 子供に対する交通安全教育を実施した際、保護者に対しても実施した。
- 3 高齢者に対しては、生活サイクルポイントにおいて、警察官による反射材の直接貼付等交通安全指導を実施した。
- 4 各種イベント、キャンペーンを通じて、子供から高齢者まで交通安全教育を実施した。
- 5 当署作成の「交通安全情報」を、新聞販売店に折込チラシとして、7,500枚の配布を依頼したほか、自治体総合案内窓口・企業の受付等へのチラシ備付け依頼、子供の交通事故発生時には学校・教育委員会に対しFAXによるタイムリーな情報発信を実施した。
- 6 今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、中野駅周辺の再開発、西武新宿線の高架または地下化等が予定されている。ダンプ等の大型貨物自動車の通行が増加することに伴う重大交通事故の発生が懸念される。こうしたことから、野方警察署と連携して、教育委員会や町会連合会に働き掛けをし、学校における交通安全教育等の実施、回覧板等を活用した地域住民への情報発信に努めた。

旨を回答した。

【業務報告】

- 1 駐車監視員活動ガイドラインの見直しについて
- 2 交通違反の重点取締場所の公表について

【諮問】

防犯カメラの設置促進について

【答申】

町会等による街頭防犯カメラ設置を図るため、プライバシー侵害といったような抵抗感をなくすよう丁寧に説明していただくとともに、自治体による設置管理が理想的であるので、警察からも自治体に強力に申し入れしてもらいたい。

【意見・要望等】

町会・商店街に限らず、学校法人や宗教法人が申請できないものが、12分の1の設置負担であれば協力に応じる法人もあるのでは。  
防犯カメラ設置について、プライバシーを気にする住民がいると申請に二の足を踏むことが懸念される。防犯カメラのモニターにより、常時監視されプライバシー侵害という誤ったイメージを持った方が多い。防犯カメラと監視カメラを混同している住民は、設置に対して抵抗感があるため、両者の違い等について、踏み込んだ説明がされれば、納得し設置が促進されるのではないかと期待している。是非設置促進を図ってほしい。  
町会加入者が減少する中、設置費用やランニングコストを負担できない町会や地域に対しては、自治体に設置するよう働き掛けてはどうか。  
地元の実態を調べたところ、ランニングコストに廃品回収利益を充てていた。  
必要な場所に自治体主導で設置する方が設置が促進されるのではないかと。  
署長 カメラの耐用年数等も考慮し、設置済みの防犯カメラを自治体に管理替えをして、ランニングコストを含め、全て自治体で管理運用してはどうかと申し入れた。自治体の考え方の差と思うが、隣接自治体のように主体となって設置すれば促進される。ランニングコストについても予算化を検討していると聞いている。  
商店街の中には、住宅兼店舗も多く、防犯カメラが設置されていない所がある。  
設置にあたって地区と台数があるが、台数よりも地区数を増やした方が抑止効果があがるのではないかと。  
大型車両の通行が増えた実感がある。大久保通りには、歩車道が明確な区分がなされていない所があり、重大事故が起きかねない懸念している。  
署長 大型車の通行が増えると、子供や高齢者の事故が増加する傾向にあり、教育長、町会連合会に対して大型車両に注意するよう促している。

その他

第2回警察署協議会は、9月中旬以後に開催予定。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年03月17日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 中野警察署 1階署長室  
出席者 協議会委員 8名  
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、交通課長、生活安全課長の陪席ついて委員の了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

前回の答申

- 1 自転車の事故関与率が高いことや、未だマナーの悪い運転が見られるので、更に自転車に対する指導・取締りをしていただきたい。
- 2 警察と地域の連携を図るという意味で、警察から情報を積極的に知らせていただきたい。

[業務報告]

管内の特殊詐欺発生状況と対策

[諮問]

春の全国交通安全運動の推進について

[答申]

全国交通安全運動期間中に限らず、子供・高齢者に対する安全教育を継続的に実施していただきたい。

[意見・要望等]

委員 車両の間を二輪車や自転車がすり抜けたりして、運転が危険だと感じます  
委員 駅周辺で歩行者が多くても自転車のスピードを落とさず、マナーが悪いです。  
委員 赤信号で車が止まっているにも関わらず、信号無視をする自転車が多いです。  
署長 自転車違反者に対しては、自転車講習制度というのがあります。  
委員 電動自転車の前後に子供を乗せ、スピードを出している母親も多く危ないです。  
委員 坂道を自転車でスピードを出して下る子供がいるので、声を掛けていただきたい。  
署長 子供の交通安全教育は難しく、警察と地域と家庭が三位一体となって子供を守って  
いくことが非常に大切です。家庭で一声かけ、学校で先生が声を掛け、現場で警察官  
が注意することが必要です。小学生のうち7歳時の事故が多いので、主に低学年の安  
全教育に力を入れたいと思います。

委員 警察官の姿をした看板の設置は効果があると思います。  
委員 子供だけではなく、高齢者の自転車運転を危険に感じます。  
委員 子供の場合、地元の人が注意して正していく努力もすべきだと思います。  
委員 子供のヘルメット着用を義務化するのも必要だと思います。  
委員 自治体が行う自転車点検は、整備の必要性を家庭に知らせる良い機会だと思いま  
す。

署長 この自転車点検は、自転車の乗り方のほか、整備の必要性和併せ、保険に入る良い  
機会でもあると思います。

委員 自転車に次いで足代わりとなっている、原動機付自転車の危険な運転者がいます。

委員 貨物車が交差点の直近等に駐車して危険です。

委員 歩行者も、横断禁止場所を横断する人がおり、高齢者に多いように感じます。

署長 責任の重い事故の当事者となっている高齢者が増えています。

委員 高齢者は自分の歩行速度を考慮せず横断するので、安全教育が必要だと思います。

署長 横断禁止場所横断等交通違反をした65歳以上の高齢者、いわゆるヒヤリ高齢者宅  
を訪問指導しています。

委員 私の町会では、襷を掛けて交通整理をしています。

署長 交通安全運動に参加している姿を見せ、街に対して安心感を与えるのが重要です。

委員 地区に対する交通安全講習会は、いつも出席者が同じで少ないことから、時間帯を  
変え高齢者の他女性や子供が参加できるようにして、参加者を増やしていただきた  
い。

署長 主婦層等の講習会も考慮しま

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することが  
できます。



平成28年度 第3回 中野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年12月07日 午後03時30分～午後05時15分

開催場所 中野警察署 1階署長室  
出席者 協議会委員 9名  
署長ほか 1名

内 容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]  
伝統ある祭礼の万全な警備は、今後とも是非継続していただきたい。

[業務報告]  
前回会議以降の「犯罪発生状況と検挙状況」

[諮問]  
業務推進結果について

[答申]  
1 自転車の事故関与率が高いことや、未だマナーの悪い運転が見られるので、更に自転車に対する指導・取締りをしていただきたい。  
2 警察と地域の連携を図るという意味で、警察から情報を積極的に知らせていただきたい。

[意見・要望等]  
委員 自転車については、スピードを出すなどマナーを守らない人が多く、怖いものだと思うことがあります。

委員 自転車のマナーは変わってますか。  
署長 取締りの成果がマナーは変わってきていますが、まだ苦情も多いので、更に取締りを強化します。

委員 自転車は自分でもマナーを守らなければいけないと改めて思いました。  
委員 子供を抱っこして自転車に乗っている母親を見かけます。怖いと思うので機会あるごとに話をしますが、事故がないのが不思議に感じています。

委員 私も抱っこをして自転車に乗り、さらに斜め横断をしていた母親を見ました。車を運転する者として、非常に怖く思いました。

委員 イヤホーンをしたまま自転車に乗っている学生を見かけるので、学校付近での指導取締りをすると効果があると思います。

委員 街頭で警察官の姿を見ると、気をつけようと思うので、防犯効果や、交通事故の未然防止になると思いました。

委員 我々の年代はネット関係は苦手なのですが、ラインの乗っ取りはあるのですか。  
署長 あります。ID、パスワードを毎回打つ等は、サイバー犯罪対策課からの申し入れです。

委員 サイバー犯罪についてですが、事前に察知したとかの事例はあるのですか。  
署長 キーワードに基づき捜査をします。IDやパスワードの使い回しは危険です。

委員 祭礼での酔っ払っていた者については、近所なので知っていました。学校へは注意喚起のため知らせました。一回自宅前で会った際、普通に挨拶を交わした程度で、特に問題はありませんでした。

委員 警察から回覧板でもいいので、情報を知らせていただければ、地域の目で見守ることも可能だと思います。地域の目を活用するためにも情報を知らせていただければと思います。

委員 町会長会議等において、警察や消防の方に有益な情報を教えていただくと、出席者が喜びます。

委員 地域と警察の連携は必要だと思います。  
委員 諮問を聞いて、警察も努力しているんだと感じました。大変勉強になりました。

委員 中野署管内がいい傾向にあることがわかりました。

その他 次回第4回協議会は、3月上旬または、下旬に開催いたします。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。